

平成 30 年 3 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 29 年 8 月 9 日

上場会社名 中央化学株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7895 URL <http://www.chuo-kagaku.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 水野 和也
 ビジネス・デベロップメント&
 問合せ先責任者 (役職名) プランニング本部 経営企画部長 (氏名) 高濱 吉晃 TEL 048-540-2820
 四半期報告書提出予定日 平成 29 年 8 月 10 日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 30 年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30 年 3 月期第 1 四半期	14,223	△0.2	△412	—	△392	—	△415	—
29 年 3 月期第 1 四半期	14,250	△4.9	△39	—	△392	—	△450	—

(注) 包括利益 30 年 3 月期第 1 四半期 △311 百万円 (—%) 29 年 3 月期第 1 四半期 △650 百万円 (—%)

	1 株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
30 年 3 月期第 1 四半期	円 銭 △20.60	—
29 年 3 月期第 1 四半期	円 銭 △22.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
30 年 3 月期第 1 四半期	百万円 47,195	百万円 7,760	16.4 %
29 年 3 月期	46,740	8,009	17.1

(参考) 自己資本 30 年 3 月期第 1 四半期 7,760 百万円 29 年 3 月期 8,009 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
29 年 3 月期	円 銭 —	円 銭 0 00	円 銭 —	円 銭 0 00	円 銭 0 00
30 年 3 月期	—	—	—	—	—
30 年 3 月期(予想)	—	0 00	—	0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 30 年 3 月期の連結業績予想 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第 2 四半期(累計)	32,000	9.4	200	31.4	100	—	0	—	0.00
通期	65,000	11.6	900	209.8	700	—	400	—	19.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

30年3月期1Q	21,040,000株	29年3月期	21,040,000株
30年3月期1Q	891,140株	29年3月期	891,140株
30年3月期1Q	20,148,860株	29年3月期1Q	20,148,860株

※ 四半期決算短信は監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、鉱工業生産が輸出の回復や国内需要の持ち直しを受け堅調に推移する中、個人消費においても雇用所得環境の改善を背景に持ち直し、国内景気はゆるやかな回復基調が続いております。一方、金融市場では日銀によるマイナス金利の導入等、引き続き積極的な金融政策が取られています。また、国内物価は、エネルギー、生鮮食品等一部に上昇傾向がみられるものの、その他については横ばいの状態が続いています。株式市場は、世界的な株高や好調な企業業績に支えられ活況を呈し、日経平均株価は2万円台に回復しました。

当食品包装容器業界と極めて関連性の深い一般消費財市場においては、雇用環境の改善等に支えられ民間最終消費支出はゆるやかなプラス基調が継続している一方、依然として消費者の節約志向・低価格志向傾向が続いております。また、食品包装容器の基礎原料である原油の価格については、引き続き前年比では高い水準の推移となっておりますが、直近はやや弱含みとなっております。

このような状況下、国内では、営業面において、予てより推進しております得意先様との連携強化に一層注力するとともに、昨年度、常設展示場を伴った新事務所に移転し、地域生産工場と連携した地産地消の取り組み強化を図っている、広島・仙台を会場にして「スプリングフェア」を実施し、当社が目指す市場の変化に対応したトータルコーディネート提案、多くの方々にご来場いただきました。特に食品鮮度保持を可能とする機能性容器の提案については、多くのお引き合いをいただきました。

また、生産面では、原材料価格の上昇を吸収すべく、引き続き生産コスト低減のための省エネ、省人化投資を実施しております。

中国においては、現地メーカーも活発な設備投資を行っており、技術向上も見られるなか、食品容器関連市場は、更に激戦となっております。独自の素材を持ち、安全・安心な当社グループ製品に対する市場のハイエンド市場からのニーズは依然根強い状況にあります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上が14,223百万円(前年同期比0.2%減)、営業損失412百万円(前年同期は39百万円の損失)、経常損失は392百万円(前年同期は392百万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は415百万円(前年同期は450百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

資産は、受取手形及び売掛金の増加668百万円等により、前連結会計年度末と比べ454百万円増加し47,195百万円となりました。

(負債)

負債は、未払金の減少293百万円、短期借入金の減少200百万円等があった一方、長期借入金の増加1,343百万円等により、前連結会計年度末と比べ703百万円増加し39,434百万円となりました。

(純資産)

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失415百万円等により、前連結会計年度末と比べ248百万円減少し7,760百万円となり、自己資本比率は16.4%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、4,681百万円となり前連結会計年度末に比べ99百万円の増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費738百万円等があった一方、売上債権の増加479百万円、たな卸資産の増加115百万円、仕入債務の減少109百万円等があり、33百万円(前年同期比665百万円の減)の支出となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得543百万円等があり、551百万円(前年同期比148百万円の減)の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済775百万円やリース債務の返済413百万円等があった一方、長期借入金の増加2,000百万円等があり、611百万円(前年同期比677百万円の増)の収入となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、概ね前回(平成29年5月10日公表「平成29年3月期 決算短信」)の業績予想の想定範囲内で進捗しておりますので変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,588	4,693
受取手形及び売掛金	9,002	9,670
商品及び製品	5,992	6,152
仕掛品	824	834
原材料及び貯蔵品	1,282	1,270
繰延税金資産	2	7
その他	2,898	2,218
貸倒引当金	△24	△16
流動資産合計	24,566	24,830
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,315	6,224
機械装置及び運搬具(純額)	3,598	3,655
土地	4,484	4,484
リース資産(純額)	4,729	4,803
建設仮勘定	240	158
その他(純額)	807	794
有形固定資産合計	20,175	20,121
無形固定資産		
リース資産	39	37
その他	1,425	1,660
無形固定資産合計	1,465	1,697
投資その他の資産		
投資有価証券	266	271
長期貸付金	155	154
破産更生債権等	32	41
繰延税金資産	71	82
その他	231	229
貸倒引当金	△224	△232
投資その他の資産合計	532	545
固定資産合計	22,173	22,364
資産合計	46,740	47,195

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,584	10,639
短期借入金	5,000	4,800
1年内返済予定の長期借入金	6,407	6,289
リース債務	1,525	1,557
未払金	2,983	2,689
未払法人税等	118	39
未払消費税等	141	164
賞与引当金	178	132
海外事業等再編引当金	32	32
資産除去債務	11	11
その他	1,105	1,056
流動負債合計	28,087	27,412
固定負債		
長期借入金	5,528	6,871
リース債務	3,575	3,634
役員退職慰労引当金	45	48
退職給付に係る負債	1,269	1,236
債務保証損失引当金	13	13
資産除去債務	8	8
その他	204	210
固定負債合計	10,643	12,021
負債合計	38,731	39,434
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,212	6,212
資本剰余金	5,787	5,787
利益剰余金	△2,679	△3,030
自己株式	△1,169	△1,169
株主資本合計	8,151	7,799
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47	56
繰延ヘッジ損益	△4	△3
退職給付に係る調整累計額	△731	△682
為替換算調整勘定	546	590
その他の包括利益累計額合計	△142	△38
純資産合計	8,009	7,760
負債純資産合計	46,740	47,195

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	14,250	14,223
売上原価	10,903	11,189
売上総利益	3,346	3,033
販売費及び一般管理費	3,385	3,445
営業損失(△)	△39	△412
営業外収益		
受取利息	2	7
受取配当金	4	4
補助金収入	10	—
為替差益	—	67
その他	56	53
営業外収益合計	73	132
営業外費用		
支払利息	63	65
売上割引	12	12
為替差損	326	—
持分法による投資損失	—	12
その他	24	22
営業外費用合計	426	113
経常損失(△)	△392	△392
特別損失		
固定資産除売却損	4	0
災害損失	25	—
特別損失合計	29	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△422	△393
法人税、住民税及び事業税	20	26
法人税等調整額	7	△4
法人税等合計	28	22
四半期純損失(△)	△450	△415
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△450	△415

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純損失(△)	△450	△415
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	8
繰延ヘッジ損益	△13	0
為替換算調整勘定	△236	44
退職給付に係る調整額	52	49
その他の包括利益合計	△200	103
四半期包括利益	△650	△311
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△650	△311

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△422	△393
減価償却費	725	738
持分法による投資損益(△は益)	—	12
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△17	△0
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	14	16
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2	3
受取利息及び受取配当金	△7	△11
支払利息	63	65
為替差損益(△は益)	73	△24
有形固定資産除却損	4	0
売上債権の増減額(△は増加)	△597	△479
たな卸資産の増減額(△は増加)	△44	△115
仕入債務の増減額(△は減少)	592	△109
未払消費税等の増減額(△は減少)	123	22
その他	255	354
小計	767	78
利息及び配当金の受取額	7	11
利息の支払額	△74	△78
法人税等の支払額	△67	△44
営業活動によるキャッシュ・フロー	632	△33
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△448	△543
定期預金の預入による支出	△6	△6
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
貸付けによる支出	△225	—
貸付金の回収による収入	25	—
その他	△43	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△700	△551
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,000	△200
長期借入れによる収入	—	2,000
長期借入金の返済による支出	△682	△775
リース債務の返済による支出	△384	△413
財務活動によるキャッシュ・フロー	△66	611
現金及び現金同等物に係る換算差額	△189	33
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△324	59
現金及び現金同等物の期首残高	4,205	4,582
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	39
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,881	4,681

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,863	1,386	14,250	—	14,250
セグメント間の内部売上高 又は振替高	20	310	331	△331	—
計	12,883	1,697	14,581	△331	14,250
セグメント利益又は損失(△)	61	34	95	△135	△39

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△135百万円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,494	1,728	14,223	—	14,223
セグメント間の内部売上高 又は振替高	41	278	319	△319	—
計	12,535	2,006	14,542	△319	14,223
セグメント利益又は損失(△)	△323	13	△309	△102	△412

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△102百万円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。